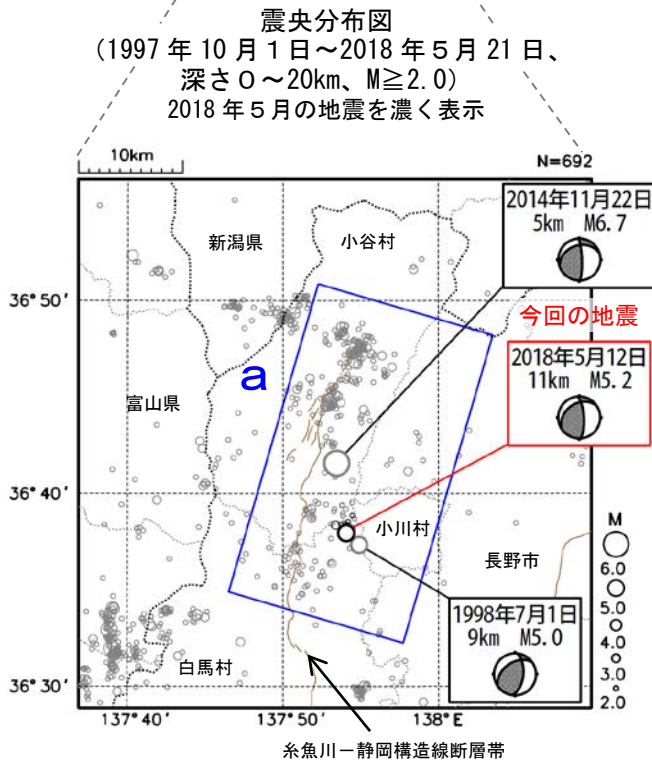
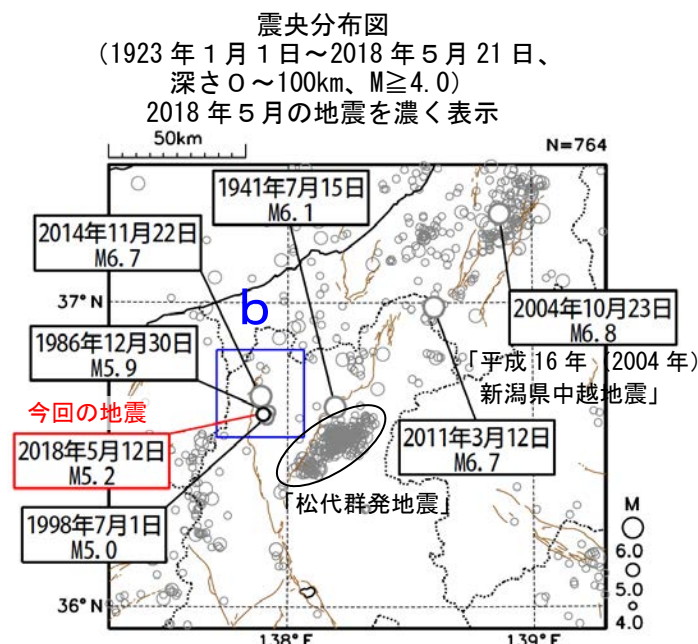


5月12日 長野県北部の地震



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。



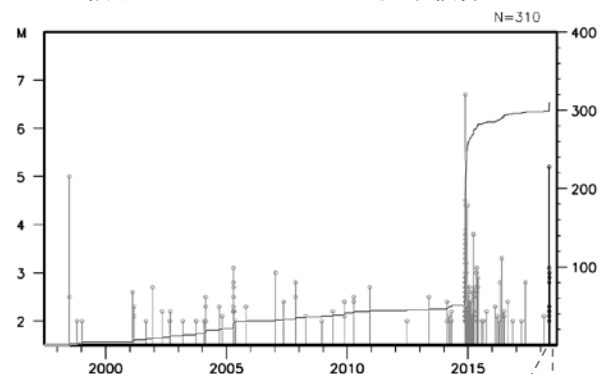
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

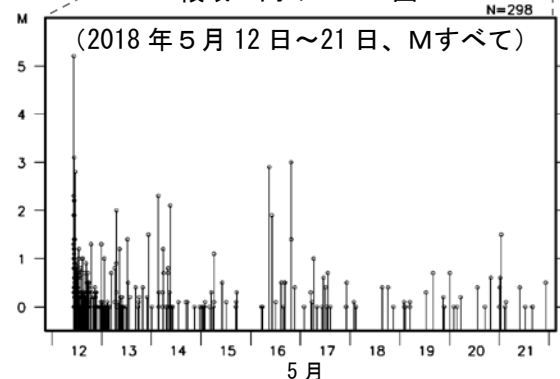
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、1998年7月1日にM5.0の地震（最大震度4）の地震が発生している。また、2014年11月22日にM6.7の地震（最大震度6弱）が発生し、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた（被害は、総務省消防庁による）。この地震について、地震調査研究推進本部地震調査委員会は「神城断層（糸魚川－静岡構造線断層帯の構成断層のひとつ）の一部とその北方延長が活動したと考えられる」と評価した。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域b）では、1986年12月30日にM5.9の地震（最大震度4）が発生している。また、領域bの周辺で1965年から1971年にかけて発生した「松代群発地震」では、負傷者15人、住宅全壊10棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

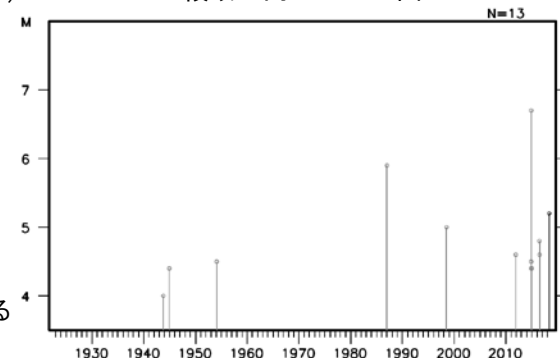
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



気象庁作成